



Investor Protection Trust 訪問記および 動画「When I'm 65 (私が 65 歳になったとき)」紹介～①

講演：岡本 和久

2017 年 5 月、久しぶりに海外出張をしました。CFA 協会の年次総会がフィラデルフィアであったのでそれに出席、その後、バンガードで確定拠出年金の教育担当の方、子供のための「クラスルーム・エコノミー」担当の方と面談、そして、ワシントン DC へ移動し、子供のための投資教育 NPO のジャンプスタート(Jump\$start)と投資家保護と教育を手掛ける NPO、インベスター・プロテクション・トラスト(Investor Protection Trust、以下 IPT)を訪問しました。



それぞれ、非常に勉強になりました。今回はそのうち IPT で学んだことと同 NPO でいただいた動画「私が 65 歳になったとき」の抄訳を二回に分けてご紹介します。

お会いしたのは Don M. Blandin さん、IPT の社長兼 CEO で投資家教育に長い経験を持ち政府のアドバイザーなども務めた方です。IPT の概要を以下にまとめておきました。

- IPT は投資教育を行う非営利団体(NPO)である
- IPT の目的は消費者が適切な投資判断を行うために必要な独立かつ公平な情報を提供することにある
- 複数州にまたがる違法行為を決着するために 1993 年に設立され、独立した非商業的投資教育を提供している
- 2003 年に NASAA、U.S. SEC、FINRA、NYSE は、米国の大手インベストメントバンク 10 社に対し、インベストメントバンキング部門とリサーチ部門に利益相反があったことにより処分を行った。そのうち 8 社が総額 8000 万ドルを投資教育目的のための資金を支払うことに合意した。そのなかの 3000 万ドルが州の証券監督者に支払われ、IPT の指導のもと投資教育に使われている。その後も州による処分金額が IPT に支払われ続けている
- IPT はその他の組織が行う投資教育と投資家保護活動を主催している



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

非常に興味深いのは IPT が違法行為のあった金融機関からの献金で成り立っているということです。本来は罰金を政府に払うわけですが、その罰金の一部を IPT に献金することで投資教育が行われているのです。

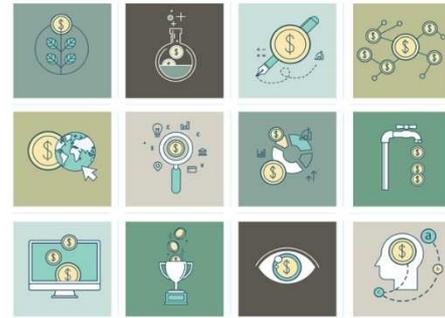
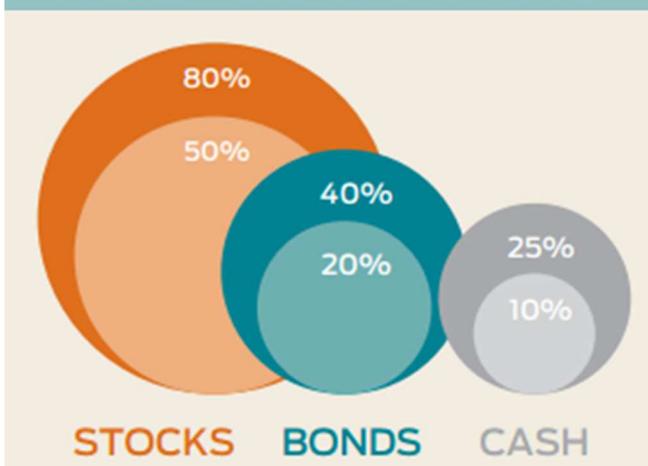
主として投資教育を行う人向けの教科書として「貯蓄と投資の基礎」というテキストがあります。

そしてこの内容に基づく個人向けの学習用パンフレットがたくさん作られています。例えば、「株式投資の基礎」では

- 株式は短期的には予測できない動きをするが、長期的にはすぐれたリターンを提供してくれる
- 株式は世界経済の将来の成長に参加できるベストの投資対象だ
- あなたが理解できる会社だけにのみ投資をしない

などの点が強調されています。そして、株式、債券、現金の保有にはそれぞれの配分比率が重要であること、さまざまな投資対象のリスクは異なることなどが分かりやすく書かれています。

分散は配分比率で考える



THE BASICS OF SAVING + INVESTING

INVESTOR EDUCATION 2020



The Basics for Investing in Stocks

▶ Although they are unpredictable over the short term, stocks have delivered superior returns over the long haul.



By the Editors of Entrepreneur Personal Finance

リスク・ピラミッド



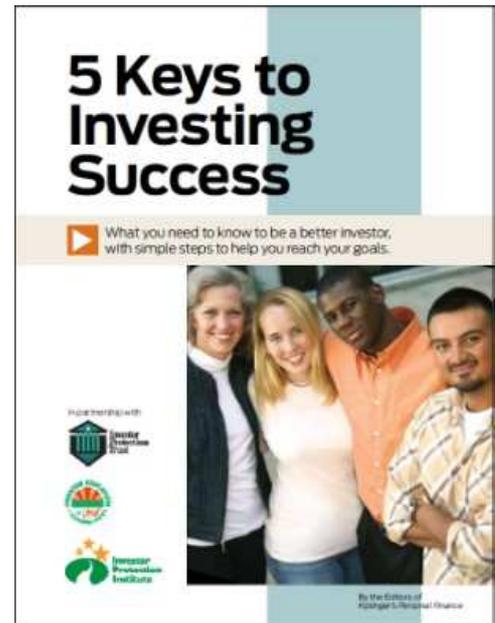


長期投資仲間通信「インベストラ이프」

さらに、「投資で成功するための五つの秘訣」というパンフレットもあります。「秘密はない、成功のための五つの秘訣」は以下のようなものです。

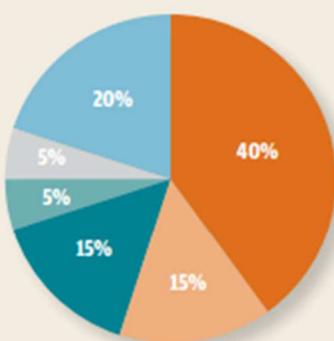
- 投資を習慣化する
- チャレンジングな目標を設定する
- 不必要なリスクをとらない
- 時間を味方につける
- 分散せよ

「ミューチュアル・ファンドとETF」というパンフレットでは資産運用を行う上でミューチュアル・ファンドとETFだけで十分であることを述べ、適切な使い方をすれば、リタイアメントや住宅購入のための貯蓄を何倍にもしてくれる、さまざまな投資対象があなたの巣の卵を育ててくれるなどの利点が解かれています。また、ここでは目的別のサンプル・ポートフォリオも紹介されています。



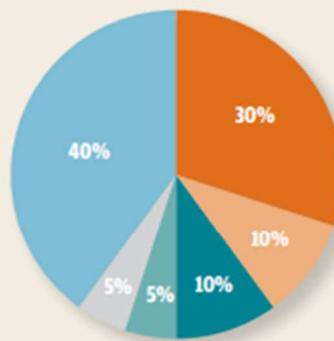
目的別サンプル・ポートフォリオ

LONG-TERM PORTFOLIO
For a goal 15 years away or more



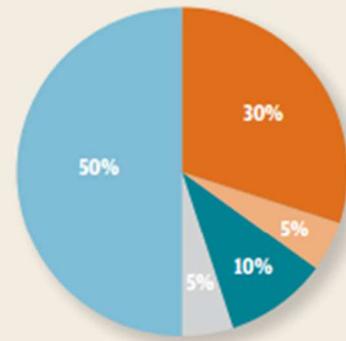
Large U.S. companies
Small U.S. companies

MID-TERM PORTFOLIO
For a goal 5-15 years away



Large foreign companies
Emerging-markets companies

SHORT-TERM PORTFOLIO
For a goal fewer than 5 years away,
or a steady portfolio for retirement.



Real estate stocks
Bonds

興味深いのは「教育資金の投資をどうするか」というパンフレットもありました。大学進学するためにその資金をどのように準備したらよいのかという解説書です。アメリカでは、2年制の短大でも毎



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

年 2965ドル、州立大学だと 8244ドル、私立であれば 28500ドルの費用が掛かるといわれます。そのためには州が提供する投資非課税口座 (529 Savings Plan) があります。この口座を使うことで、大学進学のための費用が連邦および州(州による)税から免除されます。拠出は課税後の資金となりますが投資収益および適合した教育資金使途のための引き出しも非課税となるのです。

教育資金準備は十分に貯めるのは難しく思うかも知れないがきらめてはいけないことが強調されています。そして

- ❖ 1926 年から今日まで株式は平均 10%のリターンを生み出している
 - ❖ 株式が怖い、あるいは投資期間が 8 年以下の場合は債券も保有する
 - ❖ 投資が苦手であればミューチュアル・ファンドを考える
- などのアドバイスが与えられています。



もちろん「リタイアメント資産を最大化する」というパンフレットもあります。こんなことが強調されています。

リタイア後の生活の質は、いま、あなたがどれだけ貯蓄と投資をするかにかかっている。そして、投資の三つの基本ルールは

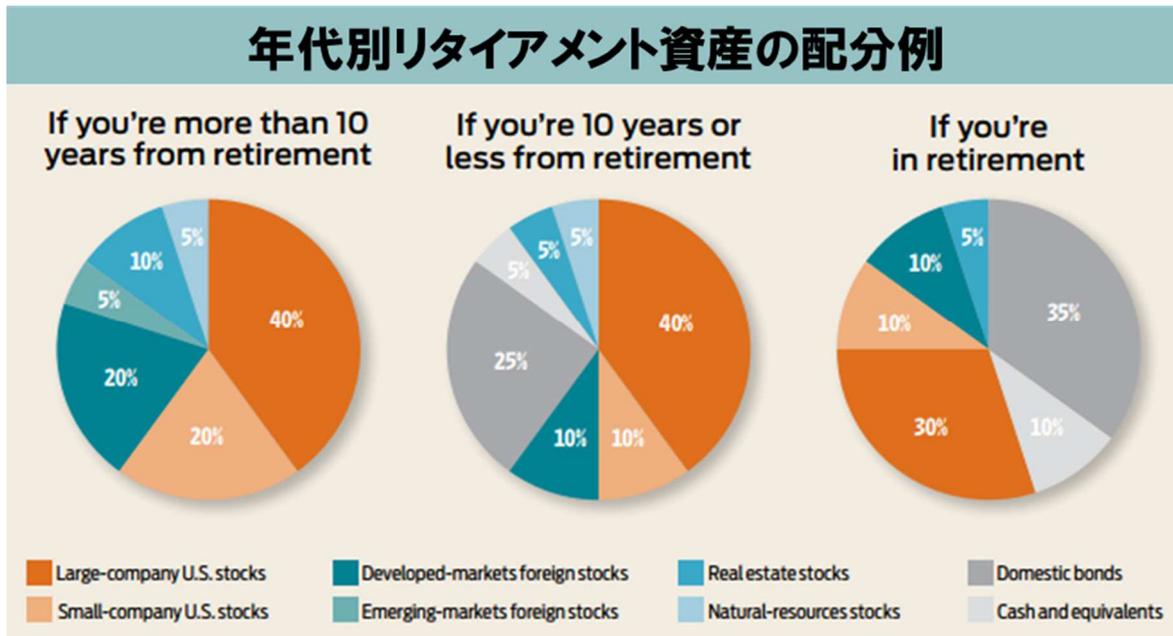
- ① 時間を味方につける
 - ② すべての投資はリスクがあることを知る
 - ③ 分散せよ
- です。

資産配分については投資期間が 10 年以上、10 年以下、





すでにリタイアしているの三つに分けて例が示されています。



「アドバイザーの選び方」というパンフレットもありました。「何千もの金融の「プロ」があなたにアドバイスを与えたがっています。最適なアドバイザーはこうして選ぼう。」という内容です。日本では独立したアドバイザーが少ないこともあり、あまりこの視点での解説が見受けられませんが米国では非常に重視されています。ポイントのみ紹介します。

こんなときにはアドバイスが必要

- ❖ 転職に伴う退職資産の移動の手続きは？
- ❖ 結婚に際し、貯蓄、負債、投資、その他の債務に関しお互いに理解しあうには？
- ❖ 相続した遺産をどのように運用すればよいのか？
- ❖ リタイアメント資産が大幅に減少する事態が生じたがどうしたらよいのか？

アドバイザーの以下に注意

- ❖ 不適切なリコメンデーション
- ❖ リスクに関する虚偽の表示
- ❖ 過剰な集中投資

アドバイザーを選択するとき聞くべき五つの質問

- ❖ あなたはどんな研修を受け、どんな仕事をしてきましたか
- ❖ あなたの投資哲学と実績はどのようなものですか
- ❖ あなたの法律で決められた開示書類のコピーをいただけますか
- ❖ 私たちの仕事面での関係はどのようなものになるのでしょうか
- ❖ サービスの対価はいくらですか



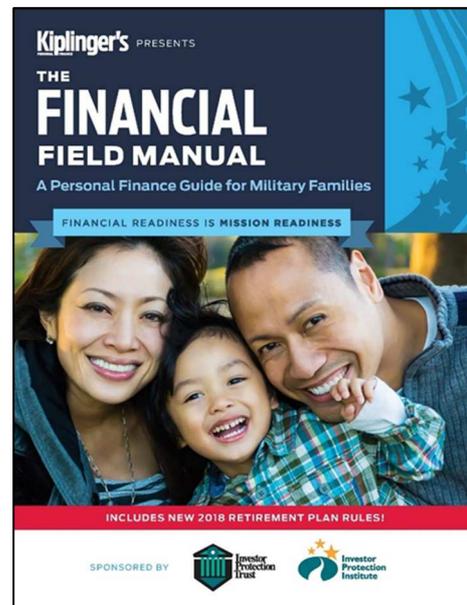
長期投資仲間通信「インベストラ이프」

アドバイザーとの間で問題が発生したら

- ❖ アドバイザー当人と話す
- ❖ アドバイザーの上司と話す
- ❖ 政府機関などに相談する

資料のなかにはこのようなものもありました。「軍人家族のためのパーソナル・ファイナンス」というものです。まさにかゆいところに手が届くような解説がされているのに感心しました。

これらの資料は NPO 法人である IPT が制作し、そして、各州がそれを州内で活用しているわけです。金融機関が主体的に動く金融・投資教育ではなく独立した NPO がその役割を担っている点が重要であると思います。



<WHEN I'M 65(私が 65 歳になったら)>

IPT が制作した「WHEN I'M 65(私が 65 歳になったら)」という 1 時間の動画があります。各州のメディアなどで放送されリタイアメント・プランニングの教材として使われているようです。今回の訪問で DVD をいただきました。

アメリカのごく一般生活者を対象としてわかりやすく「将来の自分はいまの自分が支えるより仕方ないですよ」というメッセージを繰り返し伝えていきます。ベビーブーマー、GEN X 世代、ミレニアル世代などのお金に対する考え方の違い、生活者の実体験に基づく話など非常にうまくできています。また、政府がどのような手を打っているのか、その問題点と進捗状況などもわかりやすく解説されています。

ノーベル経済学者のロバート・マートン、新進気鋭の行動経済学者、ダン・アリエリーなどが明確に「政府や企業に頼っているだけではいけないのだ、自分で行動をとらなければ大変なことになる」ということを述べています。このようなある意味、危機感が生活者のなかに醸成されてこそ投資知識に対するニーズが生まれてくるのではないかと思います。

私としてはできるかぎり正確に訳したつもりですが、DVD の音声聞いての訳なので自信のないところもあります。あるいは聞き違いなどがあるかもしれませんがその点はお含みおきください。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

「私が 65 歳になったとき」

あなたのゴールデン・イヤーズ。20 年、30 年、40 年先のこと。まだまだ、ずっと先。しっかりお金をためていますか？退職後のための貯蓄、できていますか？

リタイアなんて言葉、聞きたくない。まだ、先のことだし。

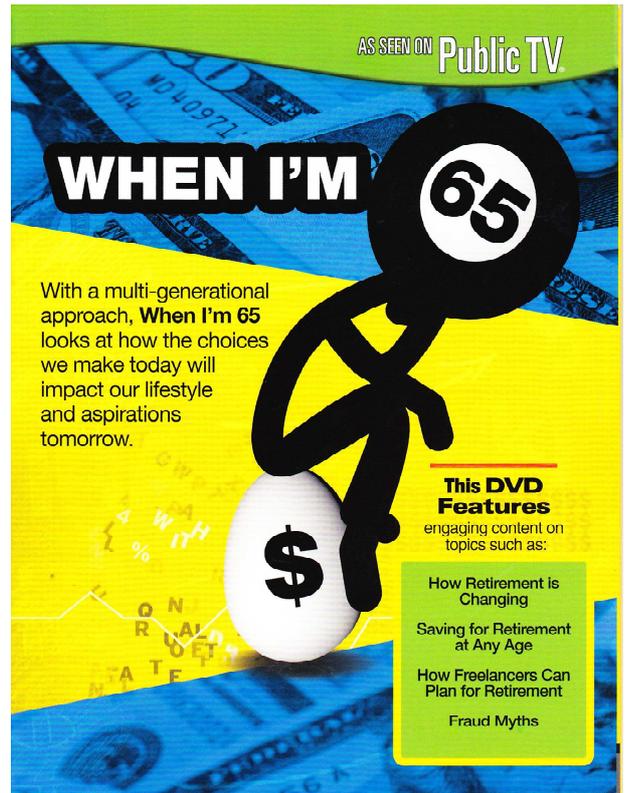
退職後、大丈夫だと思いますか？まだ、先のこと、ぼんやりとしか考えられないよ。そんなずっと将来のことなんてわからない。

<長寿化>

おめでとうございます！

医療の進歩と栄養の改善で長寿化が進んでいます。特に若い人の寿命が延びています。

長寿化はグッド・ニュースです。でもそのためにはずっと長い期間、リタイアメントのための準備をしなければなりません。ゴールデン・イヤーズ、リタイアメント、どのように名付けても、みんなが直面する問題です。80 歳まで、90 歳まで生きる可能性があります。ゴールデン・デケードなのです。



ロバート・マートン

(Robert C. Merton, Distinguished Professor of Finance, MIT Sloan)

長寿はグッド・ニュースです。

でも、長く働き、より多くの資金を準備しなければならないことを認識すべきです。

ナイト・キプリンガー

(Knight Kiplinger, Editor in Chief, Kiplinger Personal Finance)

65 歳の退職というのは 1933 年ごろにできた慣習です。当時、リタイア後の人生は 8~10 年程度でした。

アリシア・ムンネル

(Alicia Munnell, Director for Retirement Research - Boston College)

22 歳から 62 歳まで 40 年働くということは、少なくともその後の 20 年分をその期間に準備しなけ



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

ればならないということです。

ダン・アリエリー

(Dan Ariely, Professor of Psychology & Behavioral Economics, Duke University)
毎年の収入は今年的生活費と将来的生活費の両方であることを知るべきです。

ケン・ダイクトワルド

(Ken Dychtwald, President & CEO, Age Wave)
多くの人がただ、何とかなるだろうと幸運を願っている。

シンディ・ホーンセル

(Cindy Hounsell, President, Women's Institute for a Secure Retirement)
多くの人が 65 歳になってから、さあ、これから 30 年、どうしよう考えるのです。

ローラ・シン

(Laura Shin, Financial Journalist, Forbes)
多くの人が現実に圧倒されてどうしたらいいかわからなくなってしまう。

デイビット・ジョン

(David John, Deputy Director of Retirement Security, The Brookings Institute)
多くの人が全くノー・アイデアだ。

ケリー・ハノン

(Kerry Hannon, Author, PBS Next Avenue)
みんな不安でいっぱいです。

状況はこんなに複雑ではなかった。我々の親、祖父の時代には年金が面倒をみてくれたのです。

<DIY リタイアメント>

401K というおなじみの名前では呼ばれている確定拠出年金、そして IRS(個人退職講座)が昔の年金にとって代わりました。

デブラ・ホイットマン

(Debra B. Whitman, AARP Executive Vice President for Policy, Strategy & International Affairs)
自分の将来のための資金準備の責任が非常に大きく個人のもとにシフトしました。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

昔の年金が過去のものになると同時に年金が DIY リタイアメントになったのです。経済的に安心なリタイアメントはあなたに始まり、あなたに終わるのです。

ロバート・マートン

高速道路にでて車のマニュアルを渡されて、さあ、これで運転しなさいと言われるようなものです。もし、それがうまくいかなければそれはあなたの問題なのです。

人生のそれぞれのステージで判断を迫られます。どのようなプランに加入するか、いくら拠出をし、巣のなかの卵を育てるか、その卵をどれぐらいの大きさにしたいのか、転職をしたときにその卵がどうなるのか、そして最後にリタイアしたときに毎年、いくら引き出し、その資金で生活を楽しめるか、生きている間、資金が枯渇しないですむか。

昔の年金制度では個人はこのような決定をする必要はなかったのです。あなたは自動的に企業が設定する年金制度に加入し、決められた資金を出し、投資の判断を運用者に任せ、そして、キャリアの最後には 100 万ドルとはいわなくても、それなりの資金を手渡してくれる。それで人生の最後まで生活ができる。でも、現代はこんなに単純ではありません。

<ベビーブーマー、GEN X、ミレニアル>

あなたが来年リタイアしようと、40 年後にリタイアしようと すべてのジェネレーションが リタイアメントに向けての チャレンジに直面しています。

ケン・ダイクトワルド

我々は繁栄の時代に育ちました。資金面でもあまり心配はありませんでした。ただ、それが問題を起こしています。つまり、貯蓄をしなかったのです。クレジットカードを入手するのも簡単だったし、借金も簡単にできた。セカンド・モーゲッジも簡単にできた。そして、みんな、すばらしい老後が待っていると思っていた。でも、ベビーブーマーのほとんどはそんな生活ができないのです。

GEN X 世代(1960 年代初頭または半ばから 1970 年代に生まれた世代)はその様子を見て、貯蓄に対して少し責任を持たなければならないと思っています。また、退職後の生活ビジョンも現実的です。彼らは退職して気楽な生活が待っているとは思わず、住宅をシェアするとか、生活費の安いところに引っ越すなどが必要だと考えています。

ミレニアル世代(1980~2000 年頃に生まれた若者)はベビーブーマーの親たちが苦勞しているのを見て、もう少し警戒的です。まあ、1920 年代の大不況ではないにしろ、この 10 年ぐらいの 経済的にボラティリティの高い時代に生きて かなり将来を意識しています。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

ベビーブーマーは 401K の資産が 2008 年の暴落で大幅に減価し、いまや取り戻すに十分な時間ありません。ややシニカルな GEN X 世代は多くの暴落を見てきてシステムそのものに懐疑的です。

そしてミレニアルは就職難の時代に社会にでました。学生ローンの返済に苦しみ、株式市場の暴落も体験しています。そして、彼らの貯蓄はキャッシュ、現金です。もしかしたらマットレスの下に隠してあるかもしれません。しかし、現在の制度下では資金を増やし、安心な退職後を過ごすためには 株式市場を使うよりほかに方法がありません。

ケリー・ハノン

ブーマーの状況が厳しいのは現実ですが、やはりもう少しアグレッシブにならないとしょう。

マリアンヌ・キルケニー

(Marianne Kilkenny, Founder, Women for Living in Community)

我々の多くはそろそろリタイアすると思っているかもしれません。しかし、我々が計画していたようにそれほど早くリタイアするのは無理でしょうね。

アルフレディア・ディッグス

(Alfredia Diggs, Home Healthcare Aide)

リタイアしてあれもしたい、これもしたいと思ってもなかなかそうはいかないでしょう。

トム・ベル

(Tom Bell, IT, State of Michigan)

せめて子供には早くからリタイアメントのことを考えてもらいたいと思います。自分はそれをあまりしてこなかったですから。

ダニエル・ビス

(State Senator, Daniel Biss, Illinois, 9th District)

社会全体として「個人にもっとこのことを考えてもらおう」と思っています。

<リタイアメントの準備はなぜできないか>

でも現実的にはどれぐらいそれができるか疑問です。2013 年の中位所得の家庭の退職資金、IRA と 401K の合計は 11 万 1000 ドルです。結構な額だと思うかもしれませんが、これはソーシャル・セキュリティに加えて月々 400 ドルでしかないのです。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

ダニエル・ビス

アメリカ人はリタイアメントに対し準備不足です。これはクライシスです。恐ろしいことであり、大きな問題です。

なぜ、我々はこんなに現実に対して遅れをとってしまったのでしょうか。
あなたはどこへ行くのか知っている。必要なのは少しの計画とアドバイスだけです。

ダン・アリエリー

非合理的な結果が起こる一つの要因は 決定を行う際の自信過剰です。

行動経済学者のダン・アリエリーは 我々が 正しい、または誤った決定を行う理由を 研究しています。人々はいつも、いろいろな選択肢を長期的な視野で検討することができると思っています。しかし、現実はそうではありません。悲しいことですが、それが真実なのです。

進化を考えると 我々の頭脳は 熊やライオンから逃げることを常に考え、長期的な視野で将来を見すえることにはなれていません。そしてストレスと感情が我々の判断をくもらせてしまいます。多くの決定をするほど我々の結果は悪くなります。長期、多くの複雑な決定、ストレス、感情、思い当たるでしょう。現在のリタイアメント制度と 我々の遺伝的特徴により リタイアメント・プランニングは完璧に悲惨な状態です。

ダン・アリエリー

これは「現在対将来」の一番よいケースです。ナウ vs. レイターはいつも我々が間違えてしまう問題です。例えば、食べ過ぎ。いま、食べるのは楽しい。しかし、将来に問題が起こる。エクササイズ。いまはちょっと苦しいけれど将来、良いことが起こる。リタイアメントは現在対、ずっと、ずっと将来です。

我々は将来のことを計画するのが できないのみならず、現在の誘惑に非常に弱いのです。

ハル・ハシュフィールド

(Hal Hershfield, Assistant Professor, Anderson School of Management UCLA)

我々の周辺には 誘惑がいっぱいです。新しい車、大きな家、最新の家電製品などなど。これらはみんなエキサイティングで気分を高揚してくれます。ずっと将来のために我慢するよりもはるかに魅惑的なのです。

ダン・アリエリー

もうひとつ、重要なことは我々の環境が戦いを挑んできているということです。すべてのお店は多大な宣伝広告費を使って消費を喚起しようとしています。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

彼らはあなたのリタイアメントを考えているでしょうか。「ノー」です。いま、お金を使ってほしいのです。まるで、ドーナツ、ソーセージ、ベーコン、その他、なんでもありますよ という誘惑に抵抗してリタイアメントに備えるということと同じなのです。

2000年代の初期にアメリカ人はほとんど誘惑に抵抗しようとしませんでした。金利も低く、信用の査定も甘く、住宅価格は上昇していました。これらがお金がどんどんでくるATMになったのです。そのとき、大きな音で目覚ましが鳴りました。2008年のクラッシュです。

ハル・ハシュフィールド

大波が引いてしまうとみんな裸だったことがわかったのです。それが金融危機で明白になりました。そして、資金を借りるのが難しくなると 誰が良い状態で 誰が悪い状態かということが はっきりしてきたのです。

<将来よりいまがだいじ>

太古の時代から 我々が持っている 頭脳の働きで、いまを我慢して将来のために備えるのが難しいのですが、しかし、現在の経済状況では サイフを廻るバトルは 贅沢品ではなく、毎日必要とするものなのです。

子供の学費や、車を修理したり、毎日、収入すべてのお金が必要とされます。将来は大事だとわかってても 今日のためのお金が必要なので 将来のために備えることができないのです。

デイビッド・ジョン

たぶん、いま、貯蓄しないで消費するというのは最も強力な誘惑でしょう。でも、それはまたもっとも大きな間違いになるでしょう。

ダン・アリエリー

だから個人を救うためには別の方法が必要なのです。リタイアメントに向けて貯蓄をする。それをしないとひどい状態がきて そのときにはそれを修復しようとしても 手遅れだということです。

行動ファイナンスの学者たちは なぜ我々が正しい決定をできないかだけではなく、どのようにしてより良い判断に向けて誘導していけるかを教えています。

ハル・ハシュフィールド

より良い決断というのは 本当はやった方が良いと思っていながら なかなかできない決断という意味です。もっとダイエットをすとか、もっと貯蓄するとかね。何か、決定を下す方法を変えることは できないものかということです。あるいは、決定を下す人を変更するとか。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

ダン・アリエリー

つまり、世界を変える。ハイパー・ラッシュではない人に決断を任せるといふような。

貯蓄に誘導する鍵は 人間の行動、決定を下すのを嫌がる、そして人類が持っている自然の傾向を理解することにあります。

デイビッド・ジョン

人が決定を下すとき、特にそれが重要な決定のとき、そして、そのために どうしてよいのか わからないとき、しばしば、まあ、木曜日までには決めようなどと考えます。しかし、木曜日がきても何も起こらない。

ローラ・シン

401K の問題は 多くの人がサインアップ(加入)しないということです。仕事を始める当初、給料で生活が成り立つかどうか わからないこともあり、とりあえず様子を見ようとします。そうすると それが惰性になって そのまま加入しないで ずるずるといってしまうのです。

<貯蓄への誘導 オートマティック 401K>

約 10 年前、デイビッド・ジョンと仲間たちは この加入しないという惰性を打ち破るために、全員が自動的に加入するというオートマティック 401K を提案しました。この方式では従業員は自動的にプランに加入します。加入したくない人はそのような手続きをとればよいのです。

そのインパクトは驚くべきものがありました。従来方式による 401K では 初年度に加入する人は 20%のみで、さらに 3 年経っても 加入率は 65%のみでした。オートマティック 401K では 初年度に 90%が最初から加入し、3 年後には 98%にまで増加したのです。

デイビッド・シン

貯蓄することを決断しないと 困ったこととなります。オートマティック 401K では 早く貯蓄の必要に気づくことができるのです。

従業員にとっては 加入するのもしないのも 自由なのです。しかし、チョイスをフレーミングすることで貯蓄をしないと積極的に決めない限り 制度に加入することになります。その結果、加入率が 65%から 98%に増加したのです。リタイアメント目的の貯蓄のためには 早くその必要性を気づかすことが必要です。

ローラ・シン



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

とにかく早くはじめるのが重要です。

早く始めればそれだけ投資期間が長くなり、複利の効果が得られるのです。早く投資することで時間に働いてもらうのです。例えば 22 歳で貯蓄を始めた ミレニアルがいるとします。そして 30 歳で新規の投資をやめるとします。一方、GEN X 世代の人が 40 歳から 67 歳まで貯蓄をしたとしましょう。67 歳時点の資産額を比較すると 若い人の方が 10 万ドルも 余分に持っているのです。投資額は わずかに三分の二にすぎません。要するに早く始めれば より少ない資金ですむということです。25 歳の人には 10%を拠出、35 歳は 15%、45 歳だと 30%を サラリーから貯蓄しなければなりません。

ダニエル・ビス

今後、40 年、50 年先を考えると 社会としてこの問題について話し合い、実行できるような制度をつくらなければこの問題は 絶対に解決しないでしょう。

オートマティック 401K は 多くの国民をより早く貯蓄に向かわせることに 成功しました。でも、アメリカの被雇用者の半分は まだ手が届いていません。

デイビッド・シン

アメリカの 非常に多くの労働者が 何かの方法で 貯蓄をする手段が 整っていないのです。これは非常に深刻な問題です。

<オートマティック IRA>

現在 7500 万人のアメリカ人が 会社がスポンサーとなった リタイアメント用貯蓄プログラムにアクセスできていません。

ダニエル・ビス

データは明白です。この人たちのうち、IRA(個人退職口座)を開いている人は 5%に過ぎないので。ほとんどの人は 貯蓄していないのです。

7500 万人の人というのは自営業、中小企業勤務者、パートタイマーたちです。そのうち、5300 万人が フリーランサーや自営業者です。これらの人々には 手が差し伸べられていないのです。彼等にもなんらかの手段を用意する必要があります。

オバマ大統領

ここにいるみなさん(議会に出席している議員)と同じようにすべてのアメリカ人が貯蓄できるように オートマティック IRA 制度を提供すべきです。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

オートマテック IRA は 401K は複雑すぎると感じる中小企業にとって低コストでシンプルな制度を提供できます。オバマ氏とマッケイン氏は 2008 年の大統領選の際に オートマテック IRA をキャンペーンのテーマとしました。しかし、政治的な問題もあり、現在のところオートマテック IRA は魅力的なブループリントにとどまっています。このような重要な政策が政治的理由で実行されないのは大きな問題です。

ダニエル・ビス

なかなか進展しないことにイライラしています。どこかの時点でもう我慢ができなくなるとさえ感じます。とにかく行動が必要なのです。

その結果、2015 年にイリノイ州が初めてこれを法制度化しました。所得から控除することで IRA に資金が入られます。オートマテック・エンロールメントで 行動ファイナンスが指摘する問題を解決し、余裕のある範囲で IRA を通じての貯蓄が可能となりました。

ダニエル・ビス

この制度によって将来のために今、貯蓄をすることがしやすくなったのです。現在、発生しているクライシスはこれから何十年も先に表面化してくる問題です。問題は深刻で、解決策はここにあるのです。だからこそ早く行動することが必要なのです。

イリノイに続いて、イリノイ方式に若干の修正を加えた方式が、カリフォルニア、コネチカット、ニュージャージー、メリーランドなどで法制化され、さらにこれは他の州にも広がりそうです。州独自のプランや IRA を検討しています。つまり、そうすることが州自身の経済にとってもメリットがあると感じだしているからです。

ダニエル・ビス

自らリタイアメント・システムを修正できれば人々が安心して尊厳のある生活を州の世話にならないで送れるのみならず、同時にそれは非常に大きな州の財政上の助けになるでしょう。

近年の政治の世界では珍しいことですが、オートマテック IRA は共和党、民主党、どちらが優勢の州でも支持されています。

デイビッド・ジョン

少なくともこの一点に関しては政党を超えて協力できると考えています。

ダニエル・ビス

一部の人はこの制度について「私の給料が天引きされてどこに行ってしまうんだ」というのでオプ



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

トアウトします。でも、それはそれでいいのです。

オートマティック IRA 制度のない 5300 人のフリーランサーと自営業の人が、実はアメリカの被雇用者の三分の一にあたり、増加しているのです。雇用環境により GEN X は親の仕事を引き継ぐケースも多く、約 40% のミレニアルがフリーランサーか、自営業者で、しかもそれが増加しています。

サラ・ホロウィッツ

(Sara Horowitz, Founder & Executive Director of the Freelancers Union)

多くの従業員がすべての責任を自分たちに追いかぶせられてきていると感じ不安に思っています。我々は何かその対策を考えなければなりません。

もし、企業がスポンサーになるリタイアメント・プランが退職後のために貯蓄をするということが、将来よりも今を優先する洞窟に住んでいた我々の先祖から引き継いだ頭脳にとって困難であるなら、フリーランサーにはどんなチャンスがあるのでしょうか。今日、ミレニアルの 40% がフリーランサーとなっており、しかもそれが増殖している現状は 金融サービス業界を変貌させつつあります。つまり、彼らが得意とするテクノロジーの利用です。

マット・ケリー

(CEO and Co-Founder, ABARIS)

ミレニアルは簡単に使いこなしますよ。

テクノロジーの利用で最新の状況が瞬時にわかります。オンライン・バンキング・アプリ、予算管理アプリ、さらには大学の同期生とのチェック口座の比較まであります。

マット・ケリー

そしてミレニアルから始まっているこのトレンドは他の世代にも広がりつつあります。

<利益相反に注意>

401K や IRA は経済的に安心な リタイアメントのための たくさんある解決策の一部です。退職後の準備は不十分であるとはいいいながら、この DIY リタイアメント・システムの資金は 10 兆ドル以上になっています。そして、金融機関は あなたの巣の中の卵(将来のための資金)を増やすべく準備万端整えています。でも、正しい投資の選択をするのはしばしば、複雑でリスクです。

デイビッド・ジョン

多くの人はまったくノー・アイデアです。危険、詐欺のような話をいつも聞かされています。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

ローラ・シン

未来を教えてくれる水晶玉がない以上、分散投資をするより 仕方ありません。

マーケットにはすべてのニーズに合う(フリーサイズ)の ターゲット・デート・ファンド という商品があります。あなたの年齢とリスク許容度に合わせて 分散をしてくれるファンドです。

一部の人は自分自身の リタイアメント・プランを持ちたいと思っています。しかし、多くの人にとっては荒波が逆巻く株式市場に飛び込むのはかなり難しいものです。ですから、彼らは投資の判断をフィナンシャル・アドバイザーに相談します。

トム・ベル

22 歳で社会にでたとき、私は貯蓄をしていませんでした。その会社にはペンション・プランがありました。しかし、それさえもあまり意識しませんでした。ただ、お金を得るために働く、それだけでリタイアメントのことなどまったく考えませんでした。

トムの会社は年金制度を廃止し、積み立てた資金を一時払いしました。

トム・ベル

突然、多額の資金を一括でもらってどうしてよいかわかりませんでした。投資のことなど 考えたこともなかったのですから。それでファイナンシャル・アドバイザーのところへ行き、この金をどうしたらいいのかを相談しました。それでマネージド・ファンドという商品とその資金であまりよくわからずに買ったのです。

テレサ・ギラルダッチ

(Professor of Economics, New School for Social Research)

多くの人が私は大丈夫。私を助けてくれるあの人がいるから・・・といいます。それを聞いた時に私の血圧が上がり始めるのです。

クヌート・ロスタッド

(Knut Rostad, President, Institute for Fiduciary Standard)

アドバイザーの選択は難しいものです。どの人もみんな見た目も似ているし、同じようなことを言います。しかし、それは違うのです。

投資家は プロダクト・セラー(商品販売員)は街角の肉屋さんの店員のようなものだと知るべきです。彼らはいろいろな意見を持っています。そして、一日中、肉を売っています。一方、栄養士はあなたの健康に何が良いかをアドバイスしてくれます。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

プロダクト・セラーとアドバイス・ギバー(アドバイスを与える人)、どちらがあなたに良いアドバイスを与えてくれるでしょうか。アドバイス・ギバーはフィデューシャリーと呼ばれています。法律であなたにとってベストのアドバイスを与えることを求められています。一方、プロダクト・セラーにとっての基準は スータビリティ (適合性)です。この意味するところは プロダクト・セラーはあなたに代わって投資をすることは許されず、プロフィールに適した商品を勧めることのみが許されています。その範囲であれば自分の利益にとって一番良い商品を自由に売ることができます。

テレサ・ギラルダッチ

ワイルド・ウエストのような世界です。彼らの求めるものは自分がコミッションを得ることのみです。

トム・ベルは巣のなかの卵を増やしたいと思っていたのですが、自分の思うようには増えなかった。独立心が強く エクスパートといわれる人に懐疑的な GEN X の性格として エクスパートと呼ばれる人はあまり信用しませんでした。彼は DIY アプローチをとり、自分で調査を始めたのです。

トム・ベル

自分でいろいろ調べました。投資をしている商品の手数料について詳しく知るようになりました。それまでフィーのことなんて 考えたこともありませんでした。だって、手数料は当然、取られるでしょう。ただ、そんなものだと思っていました。

手数料はリターンを引き下げるだけでなく時にマイナスにしてしまいます。現在の法律では証券会社や登録外務員は利益相反を開示することを求められていません。その結果、自分にとっての利益の大きいファンドを勧めようとするのです。

クヌート・ロスタッド

よく、たくさんフィーを支払うともっと儲かると思っている人もいます。でも、投資はまさにその反対です。たくさん払うと得るものが減るということです。

高いフィーはあなたの巣の卵で支払われているのです。時には非常に大きなものが小さくなってしまふこともあります。

トム・ベル

小さく見えるフィーを 退職するまで 何年も、何年も払っていると 大きな金額になってしまいます。まったく、頭にくるよ。

利益相反に起因する悪いアドバイスによりアメリカのリタイアメント資産が 170 億ドル減っていると いわれます。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

テレサ・ギラルダッチ

そしてそのような行為を取り締まる法律がまったくないのです。

もし、法律がなく、消費者がプロテクションを必要であれば無人島にでもお金をかくさなければならぬでしょう。

議会

投資サービスに関する利益相反に大きな問題が存在します。

労働省が法律をつくろうとしましたが、金融業界のロビイストたちによって その努力は止まってしまいました。オバマ政権はフィデューシャリー基準をプライオリティと考えています。

オバマ大統領

個人が受け取っている投資のアドバイスは健全で安心なものでなければなりません。それがこの法律の目的です。質の高いアドバイザーたちが公平な条件のもとで、顧客を最優先したアドバイスを行うことが必要なのです。

オバマ政権のもとでフィデューシャリー基準は連邦のルールとなりました。しかし、金融業界はまだそれに抵抗しています。相変わらずワシントンの政界で 議論は いったり来たりしています。法制化されるにはまだ時間がかかりそうです。当面、アドバイザーにフィデューシャリーとしての役割とどのように報酬を得ているかを聞くことが大切です。

経済的に安心なリタイアメントを迎えるためにはたくさんの障害や落とし穴があります。まるでアーケード・ゲームのなかに住んでいるようです。そこで生き延び、リタイアメント・ゴールに到達できればベストです。多くのアメリカ人にとってここに到達できることが最大の成功のカギになります。

デブラ・ホイットマン

政策的に国民がもっと貯蓄をするように働きかけることがされてきました。そのために多くの時間が使われました。しかし、どのように資金を引き出したらよいのかについてはほとんど何もなされていません。

もしかしたら いままで持ったこともないような資金を 手にしてリタイアできるかも知れません。しかし、それが今後の収入になりずっと続いていくのだということを理解しない人も多いのです。その期間がどのくらい続くのかを我々は知らないのです。

問題は早いうちに始まります。退職後の目標を定めるには大きな金額の資金が必要です。多くの人が、リタイアメントが来る前のその資金に手をつけてしまいます。教育や健康などの重要な目的



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

のために使ってしまうこともあれば、時にはただ浪費してしまうこともあります。

ケリー・ハノン

実は、私は 30 歳のときに 401K プランの資金を現金化してしまいました。私はその時は本当にそうしなければならないと思っていたし、それほど大きな金額だとは思いませんでした。だから特にどうということはないとおもったのです。そのようなことはよく起こります。

特に若いときから巣の中の卵を少しずつ削っていくと複利で損失が大きくなります。いまはわずかな金額だと思っても複利のマジックであなたの退職後の資金から大きな金額を失うことになるのです。引き出すときはかなり大きなまとまった資金のごく一部だと思ってもそれが将来の毎月の生活費に与える影響は非常に大きいのです。多くの金融機関が退職後のための資金の状態をこのような形式で表示するようになっていきます。つまり、現在の残高とそれが毎月の生活のための収入としていくらになるかをわかるようにしています。

デイビッド・ジョン

これは非常に単純なディスクロージャーです。しかし、非常に大きな影響を人々にもたらします。なぜならこのような表示形式によって単なる資金の塊ではなく、将来、長く生活を支える資金だと気が付かせることができるのです。

退職後の資産運用の目的は退職後の年月をずっと支え続けるキャッシュフローを確保することなのです。同時にそれは次のチャレンジなのです。リタイアメントを生きるためにいったいいくらいるのかを予測するのはとても難しいものです。しかも、長寿化時代の今日、どれぐらいその資金が続くかもわからないのです。

マット・ケアリー

(Matt Carey, CEO & Co-Founder, ABARIS)

あなたが債券に投資をしていれば、いつも自分はいったいいつまで生きるのだろうと考えることになります。それは非常に答えるのに難しい質問です。

ナイト・キプリング

ポピュラーな方法として 4%ずつ引き出していくというのがあります。その前提としてあなたの巣のなかの卵が毎年 4%以上で増えることを想定しています。ですから年平均のリターンよりも少し低い比率で引き出していけばいいわけです。

しかし、4%のリターンを債券で得るのは今日の低金利では昔ほど簡単ではありません。ですから株式への投資が必要になるのです。その結果、高齢者には耐えられないほどのリスクをとることになります。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

デイビッド・ジョン

単純な現実には、もし、資金が枯渇するとしたらそれはあなたの人生の終わりの近くで起こることです。しかも、いまは非常に複雑な投資の判断をするときではありません。なぜなら、残された時間も限られているからです。

この世代の人たちはしばしばサイレント・ジェネレーション、静かなる世代と呼ばれています。ベビーブーマーの前の世代の人たちです。年金も十分にあり、いくら投資をしていくら引き出すかというような難しい判断をする必要もありませんでした。確かに退職に当たって100万ドルの小切手もらうこともなかったですが、高度成長期に非常に安定した収入を得ていました。ソーシャル・セキュリティも同じように機能を果たしていました。保証された支払が終身にわたって支払われたのです。ですから理想的にはこのような年金支払いのモデルを現在の制度で複製することです。401K と IRA はアニュイティ、つまり年金払いの商品を提供する必要があります。

ナイト・キプリンガー

リタイアメントが近づいてきてアニュイティ商品を買うことは自家製の「インスタント・ベンション・プラン」のようなものです。

一番単純な形ではアニュイティは保険商品です。一定の金額を保険会社に渡し、保険会社はあなたが生きている間、ずっと決められた金額を毎月支払ってくれるというものです。保険会社に渡した資金は株式市場に投資され、一般に言われている4%の引き出しルールと異なり、あなたの資金は市場の変動の影響を受けません。

シンディ・ホーンセル

あなたは別に毎日市場の動きをチェックする必要はありません。いったい引き出し額をいくらにしたら資金が枯渇しないで済むかというような不安はなくなります。アニュイティはそのような問題を解決してくれるのです。

アニュイティは2008年にマーケットがメルトダウンしたときから急増しました。経済の嵐から逃れる安全な港になりました。

デイビット・ジョン

現実を直面しましょう。これからも経済危機は起こるでしょう。ちょうどハリケーンのようなもので人生にはつきものです。その点でこのような商品は非常に有効です。危機が起こらないように願っているだけでは仕方ないのです。

しかし、アニュイティにみんなが殺到することは厳しい調査の対象となっています。評論家は一部



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

のアニュイティは非常に高額の年間手数料をとることを指摘しています。また、他の人はアニュイティが約束している予定利率は生涯にわたって払い続けるには十分でないと言っています。要するにアニュイティはすべての人に適しているわけではありません。結局、適合性の問題です。適合性、覚えていますね。

ナイト・キプリンガー

アニュイティは議論のあるテーマです。あらゆる投資商品に賛否があるのと同じです。すべての資金をアニュイティに入れるのはよくありません。あくまで、保証された収入として、ソーシャル・セキュリティの補完として考えるべきです。

あなたがいくら必要かをこの円グラフで見てください。基本的な家計部門の支出の構成です。このうちソーシャル・セキュリティでカバーされるのがこの部分です。そこで毎月の収入の不足分を得るためにアニュイティを買うということです。

アニュイティは一つのオプションです。状況によってその他の投資対象もあなたの補完的な年金となりえます。フィデューシャリーであるフィナンシャル・アドバイザーに相談してみてもどうでしょうか。多くの人にとって特に、ベビーブーマーにとってそれは単に遅すぎるのです。彼らの貯蓄は少なすぎ、それを補うには手遅れなのです。では、いったいどうしたらいいのでしょうか。

(以下、次号につづく)